

# 郷土を学び 郷土を楽しむ

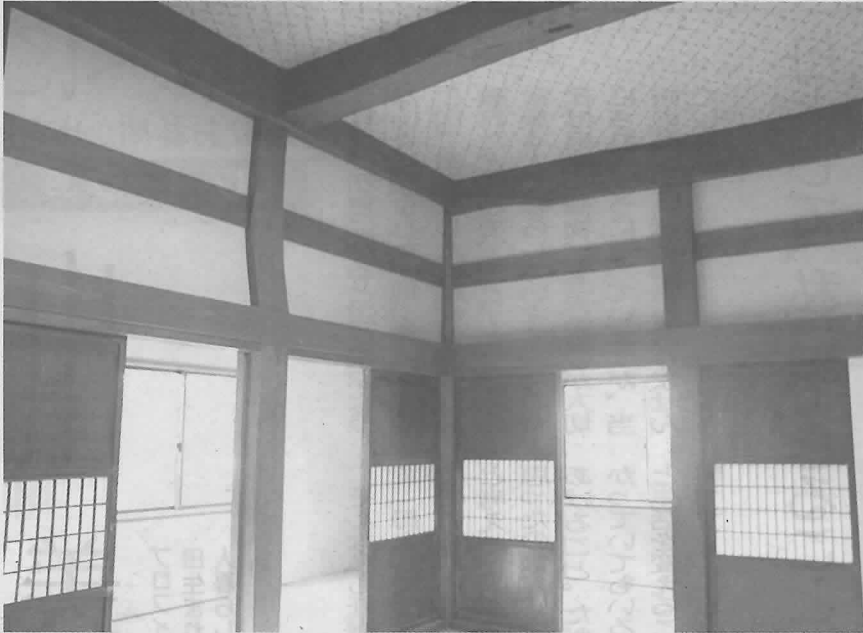
NPO法人  
頸城野郷土資料室

頸城野地域の民族文化や文化財の把握調査と保護、郷土の風習に関するお話をしているNPO法人頸城野郷土資料室(理事長・石塚正英)は、平成22年度からの新事業としてカレッジ開校

や資料室開設を予定しています。

▼NPO学園「くびき野カレッジ天地びと」開校

くびき野地域に特化した内容の講義が行われる



建築中の「アトリウム御殿山」。郷土の各種資料や芸術作品を展示し、文化交流の拠点としていく計画です。

「くびき野カレッジ天地びと」カリキュラムは、座学中心の町家教養と体験学習も含めたワークショップの各12科目24講座。教養講座では、地域の自然や民俗学などを学び、ワークショップでは鍛冶屋や朝市などを生業として活躍している人から話を聞きます。理事長の石塚さんをはじめ、くびき野の出身者や研究者が講師を務めます。

このカレッジは「地域文化を継承し、地域をリードしていける人材を育成したい」という思いから設立。地元で育成される郷土の教養をつんだ人々が地元で活動する、いわば「人間版地産地

消」の動力源となるカレッジを目指しています。現在は9月開校が決定し、講師の決定や修了試験となる検定問題の選定を行っています。授業時間帯は、毎月第1第3土曜日の午後2時から4時を予定しており、詳細が決まり次第募集を開始します。

▼資料室「アトリウム御殿山」完成間近

上越市御殿山町に建築中の「アトリウム御殿山」はくびき野地域に関する書籍や地域の芸術作品を展示する資料室として理事長の石塚さんが建設。同団体の活動場所としても活用し、夏以降には一般の方への開放や文化交流の集いも計画中です。

現代建築の中に古民家で実際に使われていた梁や柱を利用し、囲炉裏のある農家をイメージした部屋はあたたかい空間を作り出しています。「この資料室の一番の目玉」という居多神社移築の際に譲り受けた向拝の柱。他の柱とは一味違った存在感です。

石塚さんは「この資料室には私の想いとかかわりがつまっています。今は利用している状況を想像するととても楽しいです。完成が待ち遠しい」と話します。

NPO法人 頸城野郷土資料室